

続後拾遺和歌集

卷第三

夏歌

夏歌中に

好忠

夕闇にあまのいさり火みえつるは

籬が島の蛍なりけれ

三條院御子の宮と申しける時帯刀の陣の歌合に、蛍

よみ人しらず

難波がたいさりするかとみえつるは

蘆ま飛びかふほたるなりけり

名所百首歌奉りける時

前中納言定家

おしてゐるやなにはほり江にしく

玉のよるの光は蛍なりけり

題しらず

内大臣

秋ちかき沢辺の草の夕露に

光かはすはほたるなりけり

「国歌大観」より